

# リフレッシュ滋賀

第21号

連合滋賀・高退協会報

発行責任者:吉村眞明

編集責任者:山崎長栄

大津市松本2-10-6

電話:077-523-0500

## 会長に就任して

連合滋賀高齢・退職者団体協議会 会長

吉川 浩次



去る、二月二〇日開催されました連合滋賀高退協第一二回総会において、吉村前会長の後を受けて会長に選出され就任いたしました。

平成二年二月二八日に官民統一による連合滋賀が発足して間もなく、全国的な流れのなかで、平成七年に連合滋賀高齢・退職者団体協議会が結成され、以来今日までの一二年間現役組織のご支援のもと、中央・地方が一体となり、また現退一致により活動を展開してまいりました。

高退協の活動の基本理念は、「加盟組織や会員相互の交流・親睦を深めるとともに安心して暮らせる高齢者・退職者政策を推進する活動」であります。私が会長に就任してはや数ヶ月が経過しましたが、この数ヶ月の間に、小泉政権の「高齢者いじめ」は目に余るものがあります。確定申告による高齢者控除五〇万円の廃止、定率減税二分の一廃止等により「所得は上がらず、税金は上がる」国民健康保険や介護保険への跳ね返りなど、とりわけ住民税の平均して三倍強の増税には市町村役場への抗議が殺到し、担当者は「国に言ってくれ」と責任逃れ。高退協が中央・地方一体となって、署名活動や抗議集会等を行った医療制度改革関連法案も政府与党の圧倒的多数により強行採決し、患者の窓口自己負担や入院費用および療養病床の増額を強いられ、高齢者の大幅な負担増となる結果となつてまいりました。

退職者連合は、七月二七日第十回定期総会を開催し、高退連が取り組んできた経過を踏まえ、新年度においても年金制度の改善、安心・安全・信頼の医療制度の確立、介護保険制度の改善をはじめ、地域活動においては新たに、「子供の登下校時あるいは一人である時の殺傷、誘拐事件から子供を守る為の「子供の安全を地域で守る」取り組みが提案されました。この件は連合からの強い要請によるもので、今後は連合滋賀、各地協、県労福協と提携し活動が展開されます。

連合滋賀は長年にわたり、滋賀県に対し政策・制度要求の提言をしてきました。新たに就任した知事の動向が判りませんが、今年も産別OB組織の意向を踏まえ、高齢者が抱える課題を組み入れた、連合の要求案に基づき協議が進められる予定であります。

連合滋賀高退協は、今後退職者連合や近畿ブロック高退会との連携を密にし、現・退一致の活動を展開していきますと同時に加盟組織間や会員間の相互交流と親睦をはかる活動の推進に努める覚悟であります。非力な会長であります。会員各位のご支援とご協力を切にお願い申し上げます。

## ダイハツOB会滋賀支部活動に 小さなリフレッシュを観た

白数 均

退職後四年、OB会幹事として運営に参加三年目の「若僧」が私見を混じえて当支部の紹介を致します。滋賀(竜王)工場開設三二年を経て、支部会員数も五月で五〇二名の大世帯になりました。OB会設立の目的、目標に沿って幹事団を中心に諸行事、活動(リフレッシュの要素を含めた)を進めております。

毎年四月の支部総会に於いて、支部長以下幹事の選出、行事計画、予算の承認を経て計画的に進める中で、活動、行事ごとにリーダーを決め、日程や内容など吟味し会員の出席の下に実施しています。尚、これらの基礎となる幹事会は毎月第一土曜日に開催し、会員への各種配布物の準備から配達まですべて無報酬で、年間四季を感じながら実践しています。定年退職後、ともすれば行動範囲が狭くなりがちな日常生活において月に一度ではあります。支部役員は顔合わせ、対話、気づかい、励ましなどによる相互連帯感を味わう中で、明日の自分を見出す、きっかけになれば固い理屈を抜きにしたリフレッシュにもなると信じています。又、行事内容(ハイキング、見学会、ランドゴルフ)、同好会要素のゴルフコンペ、カラオケ大会など、人の集まる、旧仲間とその家族が集まる所にも前記と同様に、「生きている楽しみ、リフレッシュされた自分」を見つけていることになろうと思えます。

近年は、定年後はゆとりと楽しみを求めて順風満帆な老後を送る!! が可・不可の格差が広がる状況から、心身ともに分相応なりフレッシュ行動が大切であると感ずるところです。

## 日本高退連、組織代表者会議に参加して

滋賀高退協副会長 山森 正

三月八日、全国組織代表者会議が、衆議院第一議員会館で開かれ、山場を迎えた医療制度改革をはじめ、年金・介護保険などの課題と、新たに「認知症になっても安心して暮らせる一〇〇人会議」への参加と、「子どもの安全を地域で守るため」、退職者らにボランティア参加を呼びかける提起が出されました。

続いて、短時間の意見交流があり、例の「メール騒動」で小泉内閣にしたい放題の国会運営を許した民主党への厳しい注文や、強まる高齢者いじめへは、枯れたと言えども怒りの意思表示を具体化した、などの意見が統出しました。

とくに、医療制度関連法案は、四月早々から具体的審議が開始され、緊迫した情勢を迎えます。さらに、年金では、昨年の消費者物価が〇・三%下降したのをうけ、自動的に年金も同%減額が決定しています。

会議後、参加者全員で各議員会館を訪問し、急迫する課題、「医療保険制度の充実を求める要請書」を、民主党・社民党の国会議員全員に手渡しました。

# 二〇〇六滋賀県高齢者集会



九月二五日月曜日に大津市のアルマールにおいて高齢者集会を開催しました。今回の高齢者集会のテーマを『大災害に備える：滋賀県の地震防災対策』として、滋賀県総合防災課地震対策室長 青山 達さんを招き、近年大地震の不安が高まってきています「琵琶湖西岸断層帯」や全国的にも有名な「東南海・南海地震」を中心に、滋賀県における大地震の可能性と緊急時に家庭や地域で何が出来るのかについて次のように語っていただきました。

『ハケツ五杯に水を入れて常備してあるか。消火器がどこにあるのか、とつきの時に、すぐに出せるのか、平常時に地域で何が出来るのか考えることが大切である。マンションに誰が住んでいるのかもたぶん分からないだろう、どうするのか。建物の下敷きになったら助け出せない、あきらめるしかない：が自動車のジャッキがあれば助けられるかも知れない。飲み水の問題、食糧の問題など多くのことを想定し、みんな何が出来るのかを考えることが大切だ。良いことは自信を持って大きな声で人を集めて実行して欲しい。』

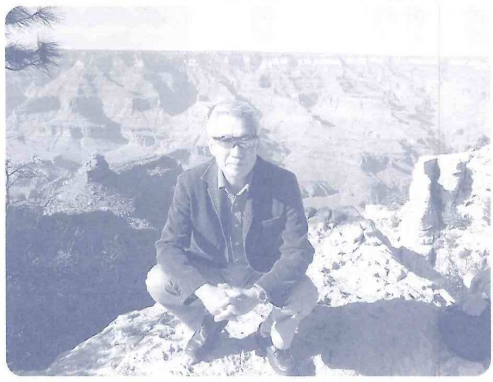
今日、お集まりの皆さんは、組合や会社でリーダーシップを取ってきていただいた経験のある方々です。是非、地域でのリーダーに、また側面から支援する方となって、地域での地震対策を進めていただきたい。』としめくくられました。

## 私のリフレッシュ

UIゼンセン同盟 OB友の会 勝田 幸三

二〇〇四年末にいわゆる勤め人をやめたが、二〇〇五年以降も二〇年来使っている同じタイプのスケジュール手帳を愛用している。スケジュール手帳を見比べると当たり前のことではあるが無職になると内容が長閑である。このことが人生のリフレッシュかもしれない。

私は生来、あまり凝り性ではない。したがって勤め人の間これといって凝ったものはない。これは無職になってからも同じで、いまさら何か特別なことに一生懸命になって名人、上手になりたくも無いし、まず成れない。そこで、無職になってから、これまで行けなかったところ、出来なかったことを何でもやってみようということ、大学、市民公開講座、通信教育、スポーツジム通い、川柳、俳句、小説、気功、古文書、水泳、ゴルフなど手当たり次第にやっている。今のスケジュール



## 連合近畿ブロック高退会奈良公園ハイキング

連合近畿ブロック高齢・退職者連絡会では、毎年持ち回りでハイキングを開催しています。今年は、古都奈良の神社仏閣を拝観し健康増進と維持、交流と親睦を目的にしてハイキングを開催します。

記

主催 連合近畿地方ブロック高齢・退職者連絡会  
 日時 二〇〇六年十月二十五日(水)  
 (受付開始九時三〇分 午前十時集会開会「雨天決行」)

散策場所 奈良公園内および近隣神社仏閣、近隣施設など  
 集合場所 奈良公園東前広場  
 内容 ハイキングコースと見学場所  
 『ハイキングモデルコース』

奈良公園東前広場→東大寺南大門前→大仏殿(★自由拝観)→戒壇院經由→正倉院(見学)→二月堂→三月堂★自由拝観→若草山山麓→手向山八幡→春日大社本殿→ささやきの小径→志賀直哉旧居付近→浮見堂→奈良公園東前広場(約6km程度)

【見学場所】  
 ★東大寺大仏殿(見学指定場所です。連合奈良の係が入口で拝観券をお渡しします)  
 ★東大寺三月堂(見学指定場所です。連合奈良の係が入口で拝観券をお渡しします)  
 ※右記二箇所のみずれかにご入場可能ですが、両方へのご入場はご遠慮下さい。

●参加申込・持参品について  
 参加申込 各組織に申込んで下さい。  
 持参品 弁当・飲み物・敷物・筆記用具・ご自分で使用される常備菜など。  
 ※詳細は各組織の幹事さんへお願いします。



ル手帳はほぼこれが中心である。当然のことながら文芸もスポーツも何一つ上手くないが大変楽しい。また、無職になってから一年半ほどで海外三箇所、国内一五箇所を旅行をした。海外はハワイー〇日間、アメリカ・カナダ七日間、中国八日間(いずれも超格安旅行)と比較的長めの旅をした。アメリカ本土は初めてでラスベガスの華やかさ、グランドキャニオンの雄大さに心底感激した。  
 なんとと言っても、生まれてこの方体験したことのないものを見たり、したりすることが最高のリフレッシュになることをこれらの経験から実感している。おそらくこれからも余程事情が変化しない限り、脈絡の無い、好奇心の赴くままの生活をしばらく続けることと思う。